

I 安定した雇用をつくる

資料2

※事業費は決算ベース

産業プラザ運営費

事業番号 1	産業プラザ運営事業		決算額	20,088 千円				
			所管課	商工課				
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	20,088 千円
[主な事業内容と成果] （一社）産業サポート白河を産業プラザの指定管理者として指定し、企業訪問、関係機関とのネットワーク形成などの産業振興業務及び中小企業等在職者に対する人材育成等のためのパソコン講座等各種事業を実施した。 〈産業支援センターの主な業務実績〉								
事業名		事業成果						
企業訪問・相談		県南地域企業を訪問し、企業情報を収集するとともに、課題解決に向け各種支援を行った。（合計件数2,001件　うち来所：142件、うち訪問：1,527件、電話・メール332件）						
関係機関とのネットワーク形成		技術課題の解決及び、製品開発から販売までのトータルサポートを実施するため、産学官連携、関係機関とのネットワークを構築し、支援を行った。 また、一般社団法人福島県発明協会、創成国際特許事務所と協力し、知的財産の活用のメリットを学び、企業経営に役立ててもらうため、「しらかわ地域知財セミナー」を開催した。（参加者24名）						
起業家支援事業		インキュベーションマネージャーの資格を有する相談員2名による起業・創業相談に対する支援を行った。						
パソコン講座事業		昼間入門、夜間基礎、年賀状作成講座など、人材育成センター内IT研修室でパソコン講座を開催した。（全5講座55日間実施、受講者数32人）						

地方創生推進交付金事業

事業番号2	しらかわ地域ものづくり高度化・海外展開促進事業			決算額	22,413 千円			
				所管課	商工課			
財源内訳	国県	8,888 千円	市債	千円	その他	4,637 千円	一般	8,888 千円

[主な事業内容と成果]

(一社)産業サポート白河に委託し、しらかわ地域のものづくり企業が抱える経営課題に対してきめ細やかな支援(伴走型支援)を行う体制を整備するとともに、地域の資源や産業の強みを活かした「ものづくりの高度化」や「海外展開」などを促進した。

○経営改善指導事業

- ・企業訪問による情報収集、課題の抽出・整理

○しらかわ型5S推進事業

- ・インストラクターによる企業訪問(16社)
- ・インストラクター研修(11社)

○産業技術高度化講習事業

- ・ものづくり講習会の実施 13講座 参加者延べ173名

○大規模見本市出展

- ・会場:第22回機械要素技術展出展
- ・出展社数:7社＋産業サポート白河

若者定着産業力強化事業

事業番号 3	UIJターン就活促進事業		決算額	701 千円				
			所管課	商工課				
財源内訳	国県	525 千円	市債	千円	その他	千円	一般	176 千円
[主な事業内容と成果] 地元企業の人材確保とともに、定住と就職の促進を図るため、首都圏でのイベント参加や大学訪問、UIJ希望者が市内で面接を行う際の交通費を補助した。 ○大学訪問・支援機関訪問 県内及び隣県等の大学や専門学校等および移住・交流情報ガーデン、ふるさと福島就職情報センターなど支援機関に訪問し、市内企業の採用情報や交通費補助金について周知を図った。 ○交通費補助金 UIJターン希望者が市内で面接を行う際の交通費に対して補助金を交付した。(11件、222,380円) ○就職情報誌(魅力ある事業所集)の作成 市内企業40社の採用情報を集めた情報誌を作成し、各大学や関係機関、市民などへ配布を行った。 ○LINEによる情報発信 市内企業の情報発信として、採用情報や企業紹介などを毎月発信した。また、イベント情報なども合わせて発信した。								

若者定着産業力強化事業

事業番号 4	若者Uターン・地元定着促進事業		決算額	5,215 千円				
			所管課	商工課				
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	2,630 千円	一般	2,585 千円
[主な事業内容と成果] (一社)産業サポート白河に委託し、地元就職に繋がる情報の収集・発信を行い、若者の地元企業定着を促進した。 また、29年度から県南8町村とも連携し、定住自立圏構想の枠組みで、人材不足対策や知的財産活用啓発事業等を実施した。 ○人材不足対策 ・しらかわ企業データベースの充実 掲載企業266社(うち新規掲載2社、情報更新31社) ・企業紹介映像の作成 13社 ○UIJターン促進 ・関係機関支援施策の利用促進 企業訪問時にニーズがあった支援制度の紹介を行い利用促進を図った。 ・インターンシップ促進 県委託事業と連携してインターンシップ受け入れ企業の拡充を図った。 ・学生と企業の交流促進 県委託事業と連携してしらかわ地域の企業と首都圏等の学生の交流会を実施した。 ○知的財産の活用 ・しらかわ地域知財セミナー 参加者24人 ・福島県発明協会等支援機関との「橋渡し」強化 企業訪問8社								

起業・創業支援事業

事業番号 5	認定創業支援事業計画関連事業		決算額	2,235 千円																
			所管課	商工課																
財源内訳	国県	1,675 千円	市債	千円	その他	千円	一般	560 千円												
[主な事業内容と成果]																				
創業希望者を支援するため、白河商工会議所及び産業サポート白河に業務委託し、次の事業を実施した。																				
<table><tr><td>事業名</td><td>支援者数</td><td>実施主体</td><td>内容</td></tr><tr><td>創業塾</td><td>25人</td><td>白河商工会議所</td><td>財務、経営、人材育成、販路開拓等の知識を身に付けるための講座を8日間開催。</td></tr><tr><td>女性のための プチ起業セミナー</td><td>延べ42人</td><td>産業サポート 白河</td><td>女性を対象に起業形態やマーケティング、資金計画などに関するセミナーを開催。</td></tr></table>									事業名	支援者数	実施主体	内容	創業塾	25人	白河商工会議所	財務、経営、人材育成、販路開拓等の知識を身に付けるための講座を8日間開催。	女性のための プチ起業セミナー	延べ42人	産業サポート 白河	女性を対象に起業形態やマーケティング、資金計画などに関するセミナーを開催。
事業名	支援者数	実施主体	内容																	
創業塾	25人	白河商工会議所	財務、経営、人材育成、販路開拓等の知識を身に付けるための講座を8日間開催。																	
女性のための プチ起業セミナー	延べ42人	産業サポート 白河	女性を対象に起業形態やマーケティング、資金計画などに関するセミナーを開催。																	

若者定着産業力強化事業

事業番号 6	金融機関と創る産業都市しらかわ事業	決算額	1,397 千円
		所管課	商工課
財源内訳	国県 1,037 千円 市債 千円 その他 千円 一般 360 千円		

〔主な事業内容と成果〕

地元金融機関と連携し、市がブースを借り上げ、市のPR及び地元企業の販路拡大のため、イベントに共同出展した。

○地方銀行フードセレクション2018

- ・日程:10月23日・24日
- ・会場:東京ビッグサイト
- ・出展社数:3社+市
- ・実績:複数の大手バイヤーとの個別商談の足がかりとなった。



【フードセレクション】

○ビジネスマッチ東北2018

- ・日程:11月7日・8日
- ・会場:夢メッセみやぎ
- ・出展社数:5社+市
- ・実績:複数の大手バイヤーとの個別商談の足がかりとなった。



【ビジネスマッチ】

IT関連創業者発掘事業

事業番号 7	コワーキングスペース事業		決算額	7,979	千円			
			所管課	商工課				
財源内訳	国県	5,458 千円	市債	千円	その他	129 千円	一般	2,392 千円

〔主な事業内容と成果〕

市内での創業を促進するため、創業手軽なコワーキングスペースを提供するとともに伴走で支援する環境を整備した。

○コワーキングスペース事業

- ・施設デザイン設計委託業務
- ・施設改修
- ・ロゴマーク作成
- ・運營業務委託



【コワーキングスペース外観】



【コワーキングスペース内観】

白河の大地が君を待つ！就農全力バックアップ事業

事業番号 8	がんばる新規就農者支援事業	決算額	7,500 千円
		所管課	農政課
財源内訳	国県 千円 市債 千円 その他 千円 一般 7,500 千円		

[主な事業内容と成果]

経営が不安定な就農初期段階において、安定的かつ計画的に営農に臨めるよう、青年等就農計画書等で経営規模目標を達成するために導入すると定めた施設、機械等の導入経費を支援し、新規就農者の定着を図った。

○ 補助実績

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| ・ 補助額 | 定額(1,500千円上限) |
| ・ 補助件数 | 5件 |
| ・ 補助金総額 | 7,500千円 |
| ・ 導入した農業用機械等 | トラクター、果樹用コンテナ、トマトハウス増設、軽トラック等 |

白河市産米消費拡大及び魅力発信事業

事業番号 9	白河市産米消費拡大及び魅力発信事業		決算額	12,430 千円
			所管課	農政課
財源内訳	国県	3,000 千円	市債	千円
			その他	千円
			一般	9,430 千円
[主な事業内容と成果] 白河市産米の販路開拓等による安定的な需要確保のため、販売促進活動に加えて実際に白河市産米に触れる機会の創出及び誘導を図りながら地域イメージの確立に向けて米以外の農畜産物や歴史・文化などの市域資源とともに白河市産米の魅力を発信した。 ○委託料:11,340千円 旅費:590千円 負担金補助及び交付金:500千円 ○実施概要 ・首都圏及び市内において白河産コシヒカリの販売促進・PRイベントを開催。 ・首都圏等において開催される「食の商談会」に出展し白河産コシヒカリの売り込みを行った。 ・市内の親子を対象に、白河産コシヒカリのほか地元農畜産物を使った「親子料理教室」を開催。 ・期間限定で白河市産コシヒカリを使用したメニューを提供する「飲食店フェア」を首都圏10店舗で実施。 ・白河産米の購入者が応募する方式で特産品等が当たるプレゼントキャンペーンを実施(応募件数:503口)。     【MIDETTEでの販売PR】 【親子料理教室】 【ヤフー株式会社「白河フェア」】 【プレゼントキャンペーン】				

農畜産物6次化・ブランド化推進事業

事業番号10	農畜産物6次化・ブランド化推進事業		決算額	2,476 千円
			所管課	農政課
財源内訳	国県	千円	市債	千円
			その他	千円
			一般	2,476 千円

[主な事業内容と成果]

白河市産の農畜産物を主な原材料とした新商品の開発(商品のネーミング、パッケージデザインの開発等を含む)や、新商品の販路開拓を行う取り組みなどに係る経費の一部を支援した。また、定住自立圏構想の取り組みとして「事業者向け6次産業に係る研修会」を開催した。

○ アグリビジネス連携補助金 補助実績 (補助率 2/3)

(単位:千円)

事業名	補助上限額	補助実績額 (件数)	事業の内容
新商品 事業化推進事業	800	700 (1件)	新商品の開発に向けた取組(商品のネーミング、パッケージデザイン開発等を含む。)に対する補助
新商品 販路開拓等事業	300	1,438 (5件)	新商品の販路開拓を行う取組及び新商品の販路開拓に必要な改良等(商品のネーミング、パッケージデザインの改良等を含む。)を行う取組に対する補助
合 計		2,138 (6件)	

○ 定住自立圏構想関連事業

(単位:千円)

事業名	事業負担金	事業の内容
事業者向け6次産業に係る研修会	129	6次産業のコンサルタント企業関係者を講師として招き、6次化商品の開発等に係る研修会を2回開催した。 ①成功例・失敗例に学ぶ6次化の始め方セミナー ②6次化商品のデザインを学ぶセミナー

Ⅱ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

資料2

※事業費は決算ベース

地域振興一般管理費

事業番号 1	「ふれあいの場」創出事業				決算額	500 千円		
					所管課	生活防災課		
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	500 千円

[主な事業内容と成果]

少子化等により地方における「結婚問題」は、深刻な状況にあるため、定住自立圏の広域的な範囲で「ふれあいの場」創出事業を実施することにより多くのカップル誕生を図るとともに、少子化対策と定住自立の促進を図ることを目的とし、県南9市町村を対象に世話やき人セミナーを1回、出逢い創出パーティーを4回(同時に結婚意識形成のセミナー開催)実施した。パーティーには延べ242人の参加があり、28組の男女が互いに好印象を持ち、出会いのきっかけ作りとなった。

○決算額 7,080千円(市負担金500千円)

○出逢い&ふれあいの会(セミナー及び出逢いイベント)

	世話やき人セミナー	第1回イベント	第2回イベント	第3回イベント	第4回イベント
開催日	6月24日(日)	7月28日(土)	9月29日(土)～30日(日)	11月18日(日)	2月16日(土)
開催場所	市立図書館	鹿島ガーデンヴィラ	東白川郡4町村	東京第一ホテル新白河	グランドエクシブ那須白河
参加人数	24人	68人	36人	36人	78人
カップル数		10組	6組		12組

母子健やか支援事業

事業番号 2	母子健康支援事業			決算額	4,637 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	746 千円	市債	千円	その他	千円	一般	3,891 千円

[主な事業内容と成果]

妊娠・出産・育児に関する総合的な相談や支援を提供する子育て世代包括支援センターを設置し、切れ目のない支援に努めた。さらに、のびのび教室一部を委託し集団指導や児の関りを学ぶ機会を増やし支援の充実に努めた。

母子健康手帳交付数423件

父子健康手帳交付数412件

○育児支援事業

(単位:回、人)

教室名	実施回数	参加者数
ことばを育てる教室	3	89
パパママ教室	4	98
離乳食相談会	23	48
すくすく広場	12	188
子育て広場	5	40
おひさま広場育児相談	8	154



【パパママ教室の様子】

○発達支援事業

(単位:回、人)

事業名	実施回数	参加者数
のびのび教室	70	662
発達相談会	7	21
ことばの相談	12	43
心理相談	37	100

母子健やか支援事業

事業番号2	乳幼児健康診査事業			決算額	6,101 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	836 千円	一般	5,265 千円

[主な事業内容と成果]

乳幼児の病気の予防と早期発見、健康の保持・増進及び子育て支援を目的に、月齢に合わせて健康診査を実施するとともに、未受診者には保健師が訪問し受診勧奨や発達の確認を行った。

(単位:人)

健診名	対象者数	受診者数
4か月児健康診査	436	428
1歳児健康診査	443	439
1歳6か月児健康診査	484	471
2歳児健康診査	486	481
3歳児健康診査	492	486
合 計	2,341	2,305

母子健やか支援事業

事業番号2	妊産婦健康診査事業			決算額	52,325 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	1,354 千円	市債	千円	その他	千円	一般	50,971 千円

[主な事業内容と成果]

○妊産婦健康診査事業

妊娠出産を支援するため、妊婦健診を15回(妊娠前期1回、妊娠後期1回、その他13回)、産後1か月健診1回の費用を助成し、異常の早期発見と保健指導を行った。

(単位:人)

健診時期	妊娠前期	妊娠後期	その他健診	産後1か月	合計
受診者数	423	429	4,279	438	5,569

○新生児聴覚検査事業

聴覚障がいを早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な療育が受けられるようにするため、検査費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。

(単位:人)

検査受診者	421
-------	-----

○産後ケア事業

産後一年以内の母子に対し産後の疲労回復や、母乳育児不安等に対する様々な悩みの解消のため、福島県助産師会に委託し、宿泊や日帰りで助産施設を利用する費用の一部を助成し経済的負担の軽減を図った。

(単位:人)

種別	日帰りケア	宿泊ケア
件数	2	2

地域子育て支援拠点事業

事業番号 3	地域子育て支援拠点事業				決算額	12,540 千円		
					所管課	こども支援課		
財源内訳	国県	8,358 千円	市債	千円	その他	千円	一般	4,182 千円

[主な事業内容と成果]

乳幼児とその保護者が気軽に集い、語り合い、交流する場を開設し、子育てについての相談、子育て情報の提供を行った。

〈補助率〉 国補助金 1/3 県補助金 1/3

〈利用実績〉

(単位: 日、人)

利用状況					
施設	開設日数	利用人数			
		子ども	大人	計	1日平均
おひさまひろば	278	4,772	4,169	8,941	32
赤ちゃんひろば(本町)	48	490	496	986	21
大信子育て広場	91	707	525	1,232	14
たんぽぽサロン	144	1,001	777	1,778	12
赤ちゃんひろば(大沼)	24	199	202	401	17
おでかけたんぽぽ	90	816	649	1,465	16
合 計		7,985	6,818	14,803	

〈歳出決算内訳〉

(単位: 千円)

事業内容	事業費
委託料	12,491
需用費	49
合計	12,540

特定不妊治療費用助成事業

事業番号 4	特定不妊治療費用助成事業			決算額	4,512 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	4,512 千円
[主な事業内容と成果]								
特定不妊治療、男性不妊治療を行った場合、治療に要した費用の一部を助成した。 (1回の治療につき、5～10万円の助成を実施)								
(単位: 件、千円)								
助成件数		助成額						
54		4,512						

病児保育事業

事業番号 5	病児保育事業			決算額	46,294 千円			
				所管課	こども育成課			
財源内訳	国県	26,712 千円	市債	千円	その他	19,267 千円	一般	315 千円

[主な事業内容と成果]

病気を患い保育所、幼稚園等で保育することが困難な児童を一時的に保育する病児保育施設を白河厚生総合病院敷地内に建設し児童の福祉の向上を図った。

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			国県	市債	その他	一般
病児保育事業	・病児保育運営費 ・消耗品費、燃料費、光熱水費 ・通信運搬費、手数料 ・警備委託料 ・建設工事費 ・備品購入費 ・水道加入金	46,294	26,712		19,267	315

認定こども園整備事業

事業番号 6	認定こども園整備事業		決算額	116,850 千円																				
			所管課	こども育成課																				
財源内訳	国県	77,900 千円	市債	千円	その他	千円 一般 38,950 千円																		
[主な事業内容と成果] (学) 専念寺学園認定こども園ぼだい樹の園舎改修工事に対し、保育所部分の補助対象経費について、保育所等整備交付金の補助金を交付した。 (単位:千円) <table><tr><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">内 容</th><th rowspan="2">事業費</th><th colspan="4">財源内訳</th></tr><tr><th>国</th><th>県</th><th>市債</th><th>一般</th></tr><tr><td>認定こども園整備事業</td><td>負担金補助及び交付金</td><td>116,850</td><td>77,900</td><td>0</td><td>0</td><td>38,950</td></tr></table>							事業名	内 容	事業費	財源内訳				国	県	市債	一般	認定こども園整備事業	負担金補助及び交付金	116,850	77,900	0	0	38,950
事業名	内 容	事業費	財源内訳																					
			国	県	市債	一般																		
認定こども園整備事業	負担金補助及び交付金	116,850	77,900	0	0	38,950																		

学校図書館利活用推進事業

事業番号 7	学校図書館利活用推進事業		決算額	28,826 千円				
			所管課	学校教育課				
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	28,826 千円

[主な事業内容と成果]

市立図書館を拠点とした学校司書の配置は、これまで全ての小学校と3つの中学校で行っている。平成30年度は新たに白河中央中と東中で行い、学校図書館を整備するとともに本の貸し出しを電子化した。学校司書が学校図書館に存在することで、児童・生徒が本と出会い、読書をする環境づくりを推進し、児童・生徒が読書の楽しさを実感できる機会を増やすことができた。学校司書を配置したことで、学校図書館が「読書センター」、「情報センター」、「学習センター」としての機能を果たした。

(単位:千円)

事業内容	事業費
社会保・共済	3,312
賃金	21,558
旅費	11
需用費	2,127
使用料及び賃借料	1,818
合計	28,826

【学校図書館リニューアル(白河中央中)】

教育振興費

事業番号 8	白河の歴史文化再発見事業		決算額	924 千円				
			所管課	学校教育課				
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	924 千円

[主な事業内容と成果]

小学校15校の成果を4回に分けて市立図書館ロビーに掲示した。また、「小学6年生学びの集い」を市立図書館において開催し、各地域の歴史や文化などについて互いに紹介し合った。

○学習内容

小学1年生は地域のお年寄りの協力のもと、昔遊びを体験した。小学2年生は「しらかわ語りの会」などの外部講師の協力により昔話などの読み聞かせを行った。小学3年生は表郷の「鈴木家住居」を訪問し、4年生は社会科の学習と関連付けて、地域の昔のくらしや開拓などを調べてまとめた。小学5年生は白河茶道連盟や翠楽苑の協力を得て茶道体験を行い、伝統文化にふれた。小学6年生は小峰城を中心とした白河の歴史を探検したり中山義秀記念文学館を訪問したりした。

(単位:千円)

事業内容	事業費
需用費	20
使用料及び賃借料	904
合 計	924



【市立図書館の歴史新聞の展示】

学校基礎学力向上推進事業

事業番号 9	学校基礎学力向上推進事業(小学校)		決算額	11,767 千円	
			所管課	学校教育課	
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他 千円 一般 11,767 千円

[主な事業内容と成果]

複式学級を解消して学年別指導を行ったり、大規模校においてティームティーチングを行ったりするために、非常勤講師3人を配置し学力向上を支援した。

また、教育講演会を開催し、全教員が特別活動を通した学級づくりについて話を聴く機会を設けた。

(単位:千円)	
事業内容	事業費
賃金	9,425
報償費	200
需用費	2,088
役務費	26
使用料及び賃借料	28
合 計	11,767



【教育講演会の様子】

学校基礎学力向上推進事業

事業番号 9	学校基礎学力向上推進事業(中学校)	決算額	8,259 千円					
		所管課	学校教育課					
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	8,259 千円

[主な事業内容と成果]

各中学校の学力向上を支援するにあたり、個別指導や習熟度別指導、チームティーチングを実施するため非常勤講師3人を配置した。個に応じた指導の成果として、全国学力・学習状況調査の結果、小学校では、国語、算数、理科が全国平均を上回った。中学校では、国語、理科が全国平均を上回り、中学校の数学はほぼ全国平均と同じであった。

(単位:千円)	
事業内容	事業費
賃金	7,078
需用費	1,181
合計	8,259



【学力向上推進会議における研修】

III 新しいひとの流れをつくる

資料2

※事業費は決算ベース

観光イベント事業

事業番号 1	こども夢フェスタ支援事業			決算額	10,000 千円
				所管課	観光課
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他 10,000 千円 一般 千円

[主な事業内容と成果]

ふくしまの子ども達に笑顔を届け、本県の元気を全国に発信することを目的に、全国のご当地キャラクターと本県の子ども達が触れ合う「しらかわキャラ市」(旧「ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ」)を開催する実行委員会に対し補助金を交付し、県南地方の活性化と持続的な発展、観光客の誘致促進を図った。



開 催 日 : 9月29日(土)・30日(日)

開 催 場 所 : 白河市総合運動公園

参加キャラクター数 : 142キャラクター

※彦根市、羽生市と並び全国三大ご当地キャライベントとして
認知されており、東北地方では最大規模

来 場 者 数 : 5万人(2日間合計)

【イベントの様子】

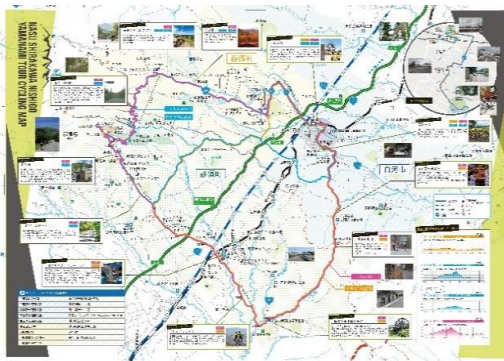
サイクルツーリズム推進事業

事業番号2	サイクルマップ作成事業			決算額	2,419 千円			
				所管課	観光課			
財源内訳	国県	1,209 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,210 千円

〔主な事業内容と成果〕

共同でサイクルツーリズムに取り組む、西郷村と栃木県那須町と本市を結ぶ「やまなみ周遊ルート」を選定し、平成29年度にサイクルマップとして作成した。

平成30年度は、「やまなみ周遊マップ」を増刷するとともに、サイクリストに好評であるミウラ折り製法による「やまなみ周遊マップ」を作成した。



【やまなみ周遊マップ】



【やまなみ周遊マップ^o（ミウラ折版）】

サイクルツーリズム推進事業

事業番号 2	国内向けプロモーション事業			決算額	2,048 千円			
				所管課	観光課			
財源内訳	国県	924 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,124 千円

[主な事業内容と成果]
「サイクルモードインターナショナル」(幕張)や「サイクルエキスポ」(さいたま)等、主に首都圏で開催される自転車展示会等において、誘客に向けたPR活動等を行った。



【サイクルモードインターナショナル】



【サイクルエキスポ】

サイクルツーリズム推進事業

事業番号 2	インバウンド観光推進事業		決算額	312 千円				
			所管課	観光課				
財源内訳	国県	156 千円	市債	千円	その他	千円	一般	156 千円

[主な事業内容と成果]
本市及び西郷村、栃木県那須町の首長や観光関連団体等が台湾の旅行会社等を訪問し、トップセールスを行うことで本地域の魅力を力強く発信するとともに誘客を促進し、認知度の向上及びインバウンド誘客の獲得を図った。



【現地旅行会社へのトップセールス】



【商談会】

インバウンド推進事業

事業番号 3	アジアインバウンド誘致事業		決算額	11,165 千円	
			所管課	観光課	
財源内訳	国県	4,752 千円	市債	千円	その他 千円 一般 6,413 千円
[主な事業内容と成果] ①台湾及びベトナムを対象としたプロモーション事業 平成30年度の福島空港と台湾桃園(とうえん)国際空港を結ぶチャーター便の運航は96便であった。また、ベトナムは、訪日外国人数の対前年比伸び率ではアジアで最も高く、本市にも180名の方が南湖公園を訪れた。今後、福島空港を起点とするチャーター便を利用して台湾及びベトナムの方々県内の観光地を訪れる機会が増えることが見込まれるため、プロモーション活動を展開し、本市への誘客を図った。 ②ゴルフ専門雑誌への掲載 県南地域に存する12のゴルフ場と本市の美しい自然、伝統文化、食、モノなど、全国に誇れる観光資源を、パンフレットやゴルフ専門雑誌へ掲載するなどの形にし、国内外に向けて情報発信することにより、本市への誘客の促進、観光消費額の増大を図った。 ③モニターツアーの実施 白河を中心に那須・会津地域の地域資源を活用し、台湾のメディア及び旅行会社の関係者を対象とした「モニターツアー」を実施し、魅力を広く発信することで認知度の向上を図るとともに、台湾からの誘客を促進し、本地域の活性化を図った。  【ゴルフプレー後に小峰城で記念撮影】					

小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業

事業番号 4	小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業		決算額	304,769 千円		
			所管課	文化財課		
財源内訳	国県	152,320 千円	市債	122,400 千円	その他 千円	一般 30,049 千円

[主な事業内容と成果]

国指定史跡「小峰城跡」の震災による石垣復旧工事が完了する平成31(令和元)年に向け、「白河集古苑」のガイダンス機能の整備を行い、市の歴史・文化財の情報発信の拠点とし、文化財を活用したホープツーリズムを推進するための施設として整備した。



【増築部分外観】



【小峰城ガイダンス展示】



【増築部分ロビー】

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			国	市債	その他	一般
小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業	・集古苑増改築 ・小峰城ガイダンス展示製作	304,769	152,320	122,400		30,049

しらかわ地域観光交流拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 5	二ノ丸御休処施設運営事業		決算額	千円
			所管課	観光課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般
				0 千円
[主な事業内容と成果] 国指定史跡である「小峰城」を含む城山公園内に立地する「二ノ丸御休処」において、市の特産品等を使用した物販や飲食の更なる充実を図るため、物販ブースと飲食ブースを区分するなど施設の増改築を行い、白河観光物産協会が運営を行っている。 施設来店者数 55,075人(改修前 39,054人) ※16,021人の増加(目標 13,546人の増加) 施設売上高 25,328千円(改修前 15,416千円) ※9,912千円の増加(目標 9,528千円の増加) 施設雇用者 8人(改修前 6人) ※2人増加(目標 1人の増加)  【二ノ丸御休処】				

しらかわ地域観光交流拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 5	南湖休憩施設改修事業		決算額	千円
			所管課	観光課
原内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般
				0 千円
[主な事業内容と成果] 南湖公園内の「地区計画」を導入しているエリアに立地する「南湖休憩施設」を集客の拠点施設とするため、先駆的に整備、改修を行った。平成30年度は、賃借者において、営業準備のための内装改修を行った。 敷地面積 五郎窪山50-2、51-1、51-2、14 1996.52㎡ 用途地域 第一種低層住宅専用地域 用 途 飲食店舗 構 造 木造 規 模 二階建 建築面積 323.37㎡ 延床面積 421.77㎡  【南湖休憩施設】				

空き家対策事業

事業番号 6	空き家対策管理事務		決算額	393 千円			
			所管課	まちづくり推進課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他 393 千円	一般	千円

[主な事業内容と成果]

空家バンクの運営等を通して空き家の利活用を促進することで、良好な住環境の確保を図る。

- 空家バンク制度の運営
公益社団法人福島県宅地建物取引業協会白河支部と協力し、空き家の中古住宅市場への流通の促進を図るため、空家バンクを運営した。
〈H28～H30年度の実績〉
物件登録者数 40件
利用登録者数 74件
契約件数15件(売買9件、賃貸6件)
- 空家改修等支援補助事業
〈H30年度の補助実績〉
改修補助1件(実績額361,000円)
家財処分補助1件(実績額7,000円)

シティプロモーション推進事業

事業番号 7	シティプロモーション推進事業	決算額	3,884 千円					
		所管課	企画政策課					
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	3,884 千円

[主な事業内容と成果]

シティプロモーションの重要性と必要性について市全体が共通認識を持てるよう、講演会を開催した。
また、高校生、市内の企業・団体・市役所の若手職員によるワークショップを開催し、当市の抱える課題や魅力の洗い出し、ロゴマーク・キャッチコピー案の検討を行った。
ワークショップでの検討結果を踏まえ、地域イメージの向上に繋げるための考え方や方向性を示したシティプロモーション基本方針を策定した。



【高校生によるワークショップ】



【若手職員によるワークショップ】



【地域活性化伝道師による講演会】

地域おこし協力隊活用事業

事業番号 8	地域おこし協力隊活用事業			決算額	14,916 千円			
				所管課	企画政策課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	16 千円	一般	14,900 千円

[主な事業内容と成果]

地域おこし協力隊は、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度であり、隊員が一定期間地域に居住し、地場商品の開発・PR、農林業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を目指し、地域振興・活性化を図る取り組みである。
白河地域、表郷地域、大信地域及び東地域で各1名の隊員が活動を行った。

〈地域おこし協力隊 小倉宗則〉（白河地域）
活動内容
・マイタウン白河を活用したイベントの企画運営、情報発信
・中心市街地活性化

〈地域おこし協力隊 嶋本雅之〉（大信地域）
活動内容
・CoderDojo白河の企画運営
・イベントの補助



【プログラミング道場『CoderDojo白河』】

〈地域おこし協力隊 飯塚俊輔〉（表郷地域）
活動内容
・表郷地域のイベント補助、地域住民との交流
・他の自治体の地域おこし協力隊との交流
・ドローンに関する資格の取得



【ドローン】

〈地域おこし協力隊 大石秀敏〉（東地域）
活動内容
・空き家を改修した「蔵カフェ さんぼみち」の経営
・地元の農産物を活用した商品の開発等

まちづくり・ひとづくり事業

事業番号 9	まちづくり・ひとづくり事業		決算額	7,560 千円				
			所管課	企画政策課				
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	7,560 千円

[主な事業内容と成果]

将来を担う若者の考えや感性を積極的に地域づくりに取り入れるため、高校生をはじめとする多くの若者が集える場である、「コミュニティ・スペース」の運営を行った。

○地域を題材にした高校生ライターの活動
白河地域の高校生が白河の魅力を発見・発信するとともに、地域の人材との交流を創出した。
また、フリーペーパーやウェブページの作成、地域の取材活動のノウハウなど技術的助言も行った。

○各種イベントの開催
コミュニティスペースを活用し、若者、地域人材の交流を創出した。
・ふくしま新入生歓迎会、コミネス館長によるクリエイティブゼミの開催など

○地域産品を豊富に活用した商品の開発（地域おこし協力隊と連携）
白河市をはじめとする各地域の農産物等の魅力を伝える取り組みを行った。
・ハニーゆずネード（五箇地区のはちみつ、矢祭町地域おこし協力隊のゆず）
・イベントにおける白河高原清流豚や塙町産のかぼちゃを使った料理の提供など



【ふくしま新入生歓迎会】